

平成27年度食育推進施策

目次

第1部 食育推進施策の現状と課題

第1章 食育推進施策等の現状

| | |
|----------------------|----|
| 第1節 食育推進施策の基本的枠組 | 2 |
| 1 食育基本法 | 2 |
| 2 食育推進基本計画 | 3 |
| 3 食育に関する施策の推進体制 | 3 |
| 第2節 食をめぐる意識と実践の現状 | 5 |
| 1 国民の食育に関する意識 | 5 |
| 2 食育推進施策の目標と現状に関する評価 | 27 |

第2章 食育推進施策の課題と取組（特集）「第3次食育推進基本計画の概要」

| | |
|-----------------------|----|
| 第1節 第3次食育推進基本計画作成の経緯 | 40 |
| 第2節 第3次食育推進基本計画の構成と概要 | 41 |

第2部 食育推進施策の具体的取組

第1章 食育推進施策の動向

| | |
|----------------------|----|
| 第1節 食育推進施策の展開 | 50 |
| 1 「食育月間」の取組 | 50 |
| 2 食育に関する施策等の総合的な情報提供 | 52 |
| 3 食育推進の取組等に対する表彰の実施 | 53 |

第2章 家庭における食育の推進

| | |
|-----------------------|----|
| 第1節 子供の基本的な生活習慣の形成 | 56 |
| 1 子供の基本的な生活習慣の状況 | 56 |
| 2 「早寝早起き朝ごはん」国民運動の推進 | 58 |
| 3 望ましい食習慣や知識の習得 | 58 |
| 第2節 妊産婦や乳幼児に関する栄養指導 | 59 |
| 1 妊産婦に対する栄養指導 | 59 |
| 2 乳幼児の発達段階に応じた栄養指導の充実 | 59 |

| | | |
|------------|--|-----|
| 第3節 | 子供や若者及びその保護者に対する食育推進 | 60 |
| 第3章 | 学校、保育所等における食育の推進 | |
| 第1節 | 学校における食に関する指導体制の充実 | 68 |
| 第2節 | 学校における食に関する指導内容の充実 | 69 |
| 第3節 | 学校給食の充実 | 71 |
| 1 | 学校給食の現状 | 71 |
| 2 | 地場産物等の活用の推進について | 71 |
| 3 | 米飯給食の一層の普及・定着に向けた取組 | 72 |
| 第4節 | 保育所における食育推進 | 82 |
| 1 | 子供の育ちを支える食育—養護と教育の一体性の重視— | 82 |
| 2 | 食を通じた保護者への支援 | 82 |
| 3 | 子供の発育・発達を支援する食事の提供 | 83 |
| 第4章 | 地域における食育の推進 | |
| 第1節 | 栄養バランスに優れた「日本型食生活」の実践 | 88 |
| 第2節 | 「食育ガイド」等の活用促進 | 94 |
| 第3節 | 専門的知識を有する人材の養成・活用 | 95 |
| 1 | 管理栄養士・栄養士の養成・活用 | 95 |
| 2 | 専門調理師・調理師の養成・活用 | 96 |
| 第4節 | 健康づくりや生活習慣病の予防や改善のための取組の推進 | 98 |
| 1 | 健康づくりや生活習慣病の予防や改善のための食育推進 | 98 |
| 2 | 高齢者や男性への取組 | 105 |
| 3 | 医学教育等における食育推進 | 106 |
| 第5節 | 歯科保健活動における食育推進 | 107 |
| 第6節 | 食品関連事業者等による食育推進 | 109 |
| 第7節 | ボランティア活動による食育推進 | 113 |
| 1 | ボランティアの取組の活発化がなされるような環境の整備 | 113 |
| 2 | 食生活改善推進員の健康づくり活動の促進 | 113 |
| 第5章 | 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等 | |
| 第1節 | 都市と農山漁村の共生・対流を通じた都市住民と農林漁業者の交流の促進 | 120 |
| 1 | グリーン・ツーリズム等を通じた都市住民と農林漁業者の交流の促進 | 120 |
| 2 | 都市部での体験農園や農山漁村での滞在型市民農園の取組状況 | 120 |
| 3 | 「農山漁村の郷土料理百選」の取組 | 121 |
| 4 | 農山漁村のコミュニティーの維持再生 | 121 |
| 第2節 | 農林漁業者等による体験活動の促進 | 122 |
| 第3節 | 地産地消の推進 | 126 |
| 第4節 | バイオマス利用と食品リサイクルの推進 | 129 |
| 1 | バイオマスの総合利用 | 129 |

| | |
|--|-----|
| 2 食品リサイクルの推進と食品ロスの削減 | 129 |
| 第6章 食文化の継承のための活動 | |
| 第1節 ボランティア活動等における取組 | 136 |
| 第2節 学校給食や行事、シンポジウム等における取組 | 136 |
| 1 学校給食における伝統的な食文化を継承した献立の活用 | 136 |
| 2 行事やシンポジウム等における我が国の伝統ある食文化等の紹介や体験の盛り込み | 136 |
| 第3節 専門調理師等の活用における取組 | 137 |
| 第4節 情報の発信 | 138 |
| 第7章 食品の安全性等に関する情報提供の推進 | |
| 第1節 リスクコミュニケーションの充実 | 145 |
| 1 リスクコミュニケーションの推進 | 145 |
| 2 意見交換会 | 145 |
| 第2節 食品の安全性に関する情報提供 | 150 |
| 第3節 食品表示の適正化の推進 | 153 |
| 1 食品表示の一元化、表示制度の普及・定着 | 153 |
| 2 JAS規格の見直し等 | 154 |
| 第8章 調査、研究その他の施策の推進 | |
| 第1節 調査、研究等の実施 | 156 |
| 1 「日本人の食事摂取基準」の作成・公表、活用促進 | 156 |
| 2 「日本食品標準成分表」の充実、活用促進 | 156 |
| 3 国民健康・栄養調査の実施、活用 | 156 |
| 4 農林漁業や食料の生産、流通、消費に関する統計調査の実施・公表 | 157 |
| 第2節 海外のShokuiku（食育）に関連する状況、国際交流の推進等 | 161 |
| 1 Shokuiku（食育）の海外展開 | 161 |
| 2 海外における食生活の改善等 | 161 |
| 3 国際的な情報交換等 | 162 |
| | |
| コラム 「生きる力を育む、『食』のぬくもり」 ～映画「はなちゃんのみそ汁」とのタイアップ～ | 65 |
| コラム 小学生用食育教材「たのしい食事 つながる食育」 | 81 |
| コラム 認定こども園 | 87 |
| コラム 食料自給力について | 90 |
| コラム 分かりやすく、実行性の高い「日本型食生活」の推進 | 93 |
| コラム 食育実践ガイドブック | 119 |
| コラム 農林漁業体験と食生活への意識 | 125 |
| コラム 学校給食における食品ロス | 132 |
| コラム 「和食」の日（11月24日）のイベントについて | 144 |

| | | |
|-------|---|-----|
| コラム | いわゆる「健康食品」に関するメッセージ | 148 |
| コラム | 機能性表示食品制度について | 155 |
| トピックス | 第10回食育推進全国大会 in すみだ 2015 を通じた普及啓発 | 51 |
| トピックス | 食育月間の取組「消費者の部屋」特別展示 ～「いただきます！おいしい国産食材」～ | 55 |
| トピックス | 2015年ミラノ国際博覧会で日本の農林水産業や食文化を世界に発信 | 141 |
| トピックス | 日本食品標準成分表の改訂について | 158 |
| トピックス | 平成26年国民健康・栄養調査結果の概要 | 160 |
| 事例 | 「一緒につくって一緒に食べる」子供に向けた、さりげない支援の形 | 63 |
| 事例 | 調理体験を通じて、子供たちの「環境に配慮した食の自立」、 「五感の育成」を推進 | 64 |
| 事例 | スポーツ栄養のプロフェッショナルが企画・運営するジュニアアスリートの保護者・ 指導者への食育～未来のトップアスリートのための体感型スポーツ栄養セミナー～ | 66 |
| 事例 | スーパー食育スクール事業 「体に良い食事・運動で健康に！」～肥満傾向児出現率の低下を目指した取組～ | 74 |
| 事例 | スーパー食育スクール事業 食と健康～食生活を見直し、健康な体をつくる～ | 76 |
| 事例 | スーパー食育スクール事業 食育を通して体力の向上を図り、未来を担う活力ある人材を地域とともに育成する | 78 |
| 事例 | 「うちら～かき保のリトルシェフ」 | 85 |
| 事例 | 乳和食の推進 | 92 |
| 事例 | 外食・中食におけるヘルシーメニューの認証「ふくい健幸美食」プロジェクト | 101 |
| 事例 | 「健康に食べる」ための食環境整備「健康づくり応援弁当」普及事業 | 102 |
| 事例 | 岩手県中部保健所の減塩・適塩に関する取組 | 103 |
| 事例 | 「食でつなぐ、ひと・もの・こころ」 ～地域住民の食を支える食品スーパーマーケットの取組～ | 111 |
| 事例 | 減塩食品の積極的紹介による減塩化の推進： J S H減塩食品リストとJ S H減塩食品アワード | 112 |
| 事例 | 「だいでプロジェクト」で、地域や世代を超えた食育活動の展開を目指す | 117 |
| 事例 | 「スポーツごはん塾」で未来のアスリート達への食育を推進 | 118 |
| 事例 | 「震災復興」をテーマに、学生たちが被災地の農産物を用いて食のイベントを開催 | 124 |
| 事例 | 「親子で学ぼう！地産地消体験ツアー」で農業体験 | 128 |
| 事例 | 食育・環境教育実施前に比べて給食食べ残し量は17%～34%削減 | 133 |
| 事例 | 「さっぽろ学校給食フードリサイクル」を中核とした食育・環境教育の充実 | 133 |
| 事例 | 食品ロス削減事業「残さず食べよう！30・10運動」の推進 | 134 |

| | | |
|----|---|-----|
| 事例 | 消費者と生産者が共に気づき、学び、考える「食と環境」の取組 ～“つながり”で考える | 135 |
| 事例 | 子供たちに対する調理師による「つくる」ことを通じた食育の推進 | 138 |
| 事例 | 食生活改善推進員による食文化継承の取組 | 139 |
| 事例 | 地域の食文化の継承（第30回国民文化祭・かごしま2015） | 142 |
| 事例 | 日本人大学生が外国人留学生とロールプレイで「日本の食」を共有 “A Guide to Shokuiku”を活用した「日本の食」の魅力 ～名古屋学芸大学管理栄養学部の事例～ | 163 |

資料編

| | | |
|-----|--|-----|
| 参考1 | 食育関連予算の概要（施策別） | 166 |
| 参考2 | 食育基本法（平成17年法律第63号） | 173 |
| 参考3 | 第2次食育推進基本計画 （平成23年3月31日食育推進会議決定）（平成25年12月26日一部改定） | 179 |
| 参考4 | 第3次食育推進基本計画 （平成28年3月18日食育推進会議決定） | 194 |

図 表 目 次

| | | |
|--------|---|----|
| 図表－ 1 | 食育基本法の概要 | 2 |
| 図表－ 2 | 第 2 次食育推進基本計画（概要） | 4 |
| 図表－ 3 | 食育推進体制 | 4 |
| 図表－ 4 | 食生活の満足度 | 5 |
| 図表－ 5 | 健全な食生活の実践の心掛け | 6 |
| 図表－ 6 | 健康状態の自己評価 | 6 |
| 図表－ 7 | 栄養バランスに配慮した食生活の実践状況 | 7 |
| 図表－ 8 | 食生活の満足度、健全な食生活の心掛け及び栄養バランスに配慮した食生活の実践状況と健康状態の自己評価との関係 | 8 |
| 図表－ 9 | 食育への関心度 | 9 |
| 図表－ 10 | 食育を国民運動として実践するなら関心があること | 10 |
| 図表－ 11 | 今後の食生活で特に力を入れたい食育の内容 | 11 |
| 図表－ 12 | 健全な食生活の実践の心掛けや健全な食生活に関する実践状況と食育への関心度との関係 | 12 |
| 図表－ 13 | 家族との共食 | 13 |
| 図表－ 14 | 地域等での共食 | 15 |
| 図表－ 15 | 朝食摂取頻度等 | 16 |
| 図表－ 16 | 朝食摂取頻度及び栄養バランスに配慮した食生活の実践と暮らし向きとの関係 | 17 |
| 図表－ 17 | 生活習慣病の予防や改善のための食生活の実践 | 18 |
| 図表－ 18 | 生活習慣病の予防や改善のための食生活の意識と実践の乖離の実態 | 19 |
| 図表－ 19 | ゆっくりよく噛む食べ方 | 21 |
| 図表－ 20 | 栄養バランスに配慮した食生活や生活習慣病の予防等に関する食生活の実践とゆっくりよく噛んで食べることとの関係 | 22 |
| 図表－ 21 | 食文化を受け継ぐこと | 23 |
| 図表－ 22 | 食文化を伝えること | 24 |
| 図表－ 23 | 食品の安全性に対する実践状況 | 25 |
| 図表－ 24 | 食品の安全性に対する具体的な意識と判断の乖離の実態 | 26 |
| 図表－ 25 | 第 2 次食育推進基本計画における食育の推進に当たっての目標値と現状値 | 27 |
| 図表－ 26 | 食育への関心度（年次推移） | 28 |
| 図表－ 27 | 食育の周知度（年次推移） | 29 |
| 図表－ 28 | 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数（年次推移） | 30 |
| 図表－ 29 | 小学 5 年生の朝食欠食率（年次推移） | 32 |
| 図表－ 30 | 朝食の欠食率の年次推移（20 歳以上）（年次推移） | 32 |
| 図表－ 31 | 学校給食における地場産物等の活用状況（年次推移） | 33 |

| | | |
|--------|--|-----|
| 図表－ 32 | 都道府県別の地場産物等活用状況（平成 26（2014）年度） | 33 |
| 図表－ 33 | 「食事バランスガイド」等を参考にした食生活（年次推移） | 34 |
| 図表－ 34 | メタボリックシンドロームの予防や改善のための 食事・運動等の実践度（年次推移） | 35 |
| 図表－ 35 | 噛み方、味わい方といった食べ方への関心度（年次推移） | 35 |
| 図表－ 36 | 食育の推進に関わるボランティア数（年次推移） | 36 |
| 図表－ 37 | 農林漁業体験を経験した国民の割合（年次推移） | 36 |
| 図表－ 38 | 食品の選択や調理についての知識（年次推移） | 37 |
| 図表－ 39 | 都道府県別 管内市町村の食育推進計画作成状況（その 1） | 38 |
| 図表－ 40 | 都道府県別 管内市町村の食育推進計画作成状況（その 2） | 39 |
| 図表－ 41 | 第 3 次食育推進基本計画の主な検討経緯 | 40 |
| 図表－ 42 | 「第 3 次食育推進基本計画」 目標 | 45 |
| 図表－ 43 | 朝ごはんを食べないことがある小・中学生の割合 | 56 |
| 図表－ 44 | 朝食摂取と学力調査の平均正答率との関係 | 57 |
| 図表－ 45 | 朝食の摂取状況と新体力テストの体力合計点との関係 | 57 |
| 図表－ 46 | 朝食を欠食する小学校 6 年生及び中学校 3 年生の割合 | 61 |
| 図表－ 47 | 朝食を欠食する若い世代の割合 | 62 |
| 図表－ 48 | 朝食欠食が始まった時期（20 歳以上） | 62 |
| 図表－ 49 | 公立学校栄養教諭の配置状況 | 68 |
| 図表－ 50 | 学校給食実施状況（国公立） | 73 |
| 図表－ 51 | 米飯給食実施状況（国公立） | 73 |
| 図表－ 52 | 我が国の食料自給率の動向 | 89 |
| 図表－ 53 | 我が国と諸外国の食料自給率 | 89 |
| 図表－ 54 | 我が国の平成 26（2014）年度の食料自給力指標 | 90 |
| 図表－ 55 | 我が国の食料自給力指標の推移（平成元（1989）年度～平成 26（2014）年度） | 91 |
| 図表－ 56 | 「4 つの食習慣」と「日本型食生活」実践度の関係 | 93 |
| 図表－ 57 | 生活習慣病の医療費に占める割合と死亡割合 | 99 |
| 図表－ 58 | 野菜摂取量の平均値（20 歳以上、年齢階級別） | 100 |
| 図表－ 59 | 果物摂取量の平均値（20 歳以上、年齢階級別） | 100 |
| 図表－ 60 | 65 歳以上の高齢者の有訴者率及び日常生活に影響のある者率（人口千対） | 105 |
| 図表－ 61 | 食品の選択や調理についての知識 | 106 |
| 図表－ 62 | 食育への関心度（性別） | 106 |
| 図表－ 63 | 主食・主菜・副菜を食べる頻度が 1 日 2 回以上ある食事の頻度 | 106 |
| 図表－ 64 | 外食率と食の外部化率の推移 | 110 |
| 図表－ 65 | 農林漁業体験の経験の有無と食生活への意識の関係 | 125 |
| 図表－ 66 | 農林漁業の体験活動に参加したことをきっかけに、 より強く意識するようになったこと等 | 125 |

| | | |
|--------|--|-----|
| 図表－ 67 | 再生利用事業計画のイメージ | 127 |
| 図表－ 68 | 「全国食べきりサミット」のイメージ | 130 |
| 図表－ 69 | 食品廃棄物等の利用状況等（平成 24 年度推計） | 131 |
| 図表－ 70 | 児童・生徒 1 人当たり年間の食品廃棄物発生量（平成 25（2013）年度推計） | 132 |
| 図表－ 71 | 松本市における環境教育（食育）プログラムの内容と食べ残し量調査 | 133 |
| 図表－ 72 | 平成 27（2015）年度における意見交換会の主な開催テーマ | 147 |
| 図表－ 73 | 食品表示法（平成 25 年法律第 70 号）の概要 | 154 |
| 図表－ 74 | 新たな機能性表示食品制度の創設 | 155 |
| 図表－ 75 | 日本食品標準成分表の沿革 | 158 |
| 図表－ 76 | 「差引き法」による炭水化物 | 158 |
| 図表－ 77 | 所得と生活習慣等に関する状況 | 160 |

※結果数値（%）は小数点第二位を四捨五入してあるので、内訳の合計が計に一致しないこともある。